

6. 事業内容	(ア) 教育機関の平和教育実施能力強化コンポーネント (1) 教育省 ARMM 地方での「平和の学校基礎研修」 対象：教育省 ARMM 地方と州・市担当官等（53 名） 内容：平和の学校運営の基礎研修の提供及び平和教育に積極的な学校が集まり学び合う「平和の学校 कांग्रेस」の開催 (2) 重点地域ピキット南部における「平和の学校研修」の実施 対象：ピキット南部 4 高校の教師等（約 800 名） 内容：平和教育の基礎や平和教育の授業案の作成等の研修の実施及びピキット町内の平和の学校同士の連携会議の開催等。 (3) 重点地域ピキット南部における「平和の学校建設」(ハード) 対象：ピキット南部 2 高校 計 240 名分 ・アティップ・マカリガン高校 1 棟 3 教室の建設と備品整備 ・カバサラン高校 1 棟 3 教室の建設と備品整備 (イ) 村及び MILF 紛争調停能力強化コンポーネント (4) 村（バランガイ）レベルでの紛争調停能力向上研修 対象：ピキット南部の 13 村等 100 名 内容：紛争時の子どもの保護や紛争の平和的解決の研修の実施。 (5) MILF の紛争調停能力向上研修 対象：モロ・イスラム解放戦線（MILF）30 名 内容：平和の基礎概念や紛争の平和的解決手法等の研修の実施。
7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など	(ア) 教育機関の平和教育実施能力強化コンポーネント (1) 教育省ソクサージョン地方での「平和の学校基礎研修」は前期予定されていた 2 つのテーマの内、2 つとも実施されており、35 名（延べ 58 名）が参加した。前半に予定していた数の研修は全て終了し、順調に進んでいる。これまでに、参加者たちは「平和の学校の概念や学校を対象に行うべき研修活動」等について理解を深めており、予定通り、事業期間内に「平和教育の重要性を訴える宣言が行われる」ことになる。 (2) 重点地域ピキット西部における「平和の学校研修」は、前期予定されていた 7 つのテーマの内、7 つとも実施されており、65 名（延べ 183 名）が参加した。前半に予定していた数の研修は全て終了し、順調に進んでいる。これまでに、具体的な平和教育授業案作りなども始まっていて、事業期間内に予定通り「事業案が 9 つ以上完成する」見込みである。 (3) 重点地域ピキット西部における「平和の学校建設」では、村との調整の関係で、現時点で工事に遅延が生じたが、既に建設は開始されており、予定通り、事業期間内に「対象高校及び対象小学校の子ども 160 名の教育環境が整えられる」見込みとなっている。 (イ) 村及び MILF 紛争調停能力強化コンポーネント (4) 村（バランガイ）レベルでの紛争調停能力向上研修は、前期予定され

	ていた 3 つのテーマの研修の内、2 つが終了しており、37 名（延べ 42 名）が参加した。前期で終了できなかった 1 つのテーマは、10 月上旬に実施が予定されており、当初から後期予定の 1 つのテーマと合わせて、事業期間内に全てのテーマを終える見込みである。これまでに、村で実際に起きた紛争事例に照らして、紛争解決の方法について理解を深められており、目標の「25 名以上の村役人が、紛争を平和的に解決する方法について体系立てて 3 つ以上答えること」ができる見込みである。 (5) MILF の紛争調停能力向上研修では、前期予定の 2 つのテーマの内、2 つとも終了しており、52 名（延べ 68 名）が参加した。前半に予定していた数の研修は全て終了し、順調に進んでいる。これまでに、紛争解決の平和的な手段として「平和の文化」と「伝達」を中心に学び、自らの今後の行動計画を立てられており、予定通り、事業期間内に、「25 名以上のメンバーが、紛争を平和的に解決する方法について体系立てて 3 つ以上答えることができる」見込みである。
8. 期待される成果と成果を測る指標	(成果 1) 教育省 ARMM 地方及び州・市担当官に、学校に平和教育を導入する重要性が共有される。 (指標 1) 「平和の学校 कांग्रेस」で、同州・市担当官により、平和教育の重要性を訴える宣言が 1 回行われる。 (実施前後の数値) 同宣言 0 回→1 回（活動記録にて確認） (成果 2) ピキット町南部の 4 つの高校で、平和教育が学校運営に取り入れられる。 (指標 2) 同校で平和に関する授業案が 12 個以上完成する。 (実施前後の数値) 授業案 0 個→12 個（活動記録で確認） (成果 3) アティップ・マカリガン高校及びカバサラン高校の子ども 240 名の教育環境が整えられる。 (指標 3) 同校 240 名以上の子どもたちが、教育省基準に従った 6 教室で、自分の机と椅子を使用し、学ぶことができる。 (実施前後の数値) 0 教室→6 教室（モニタリングシートで確認） (成果 4) ピキット南部の村役員の紛争を平和的に解決する能力が高まる。 (指標 4) 30 名以上の村役員が、紛争を平和的に解決する方法について体系立てて 3 つ以上答えることができる。 (実施前後の数値) 0→3 つ（活動記録にて確認） (成果 5) MILF メンバーの紛争を平和的に解決する能力が高まる。 (指標 5) 25 名以上の MILF メンバーが、紛争を平和的に解決する方法について体系立てて 3 つ以上答えることができる。 (実施前後の数値) 0→3 つ（活動記録にて確認）

申請書記載日：2015 年 9 月 29 日

団体代表者 代表理事 田口 京子